

海外生活 エッセー

北京事務所

張家界森林公園を訪ねて

(一財)自治体国際化協会北京事務所 所長補佐 満平 ほたる (宮崎県宮崎市派遣)

中国の観光地と聞くと万里の長城や故宮など歴史的な建造物をイメージする人が多いのではないのでしょうか。実際、赴任してみると、これら歴史的な建造物はもちろん、壮大な自然が観光地として生かされていることに気付きました。今回は壮大な自然がどのように観光地として生かされているかを、湖南省にある張家界にある観光地を例にご紹介したいと思います。

→ 張家界森林公園とは

湖南省は、中国の中南部、長江の中流に位置し、中国一辛いといわれる湖南料理が名物です。張家界市は北西部にあり、壮大な自然が魅力の張家界森林公園や天門山が世界遺産として近年日本でも有名です。

張家界森林公園は、張家界景区、天子山景区、楊家界景区など柱状の岩山が連なり、面積は約 4,800 ha の中国初の森林公園です。ここは、2009 年に公開された映画「アバター」の舞台にもなっており、今では阿凡達（アバター）と名付けられている場所もあり、世界中から観光客が訪れる人気の観光スポットです。

2002 年には、地上から頂上まで 326 m の高さを行き来する屋外の百龍エレベーターが設置されました。設置される前は 3 時間かかっていたところが、今では 2 分弱で行き来することができます。ガラスの向こうに絶景を見ることができることから、このエレベーターも立派な観光地となっています。

エレベーターの他にも、ロープウェイやバスがそれぞれのエリアをつないでおり、移動時間が大幅に短縮され、安全に観光できるなど、観光客の満足度を高めることができます。

2024 年 1 月に訪れた際、私もエレベーターに乗ってみました。エレベーターに乗るとすぐに全面ガラス張りの周囲一面に岩山の景色が現れ、まるで地の底に降

りているような感覚です。乗客は、その絶景に思わず感嘆の声をあげ、一斉に写真を撮影し始めます。その一体感はまるでテーマパークのアトラクションに乗っているかのようでした。

300 m を超える断崖とエレベーターという巨大な人工物とのコントラストは中国ならではかもしれません。皆さんもこの風景を見に中国に来てみませんか。



百龍エレベーター



アバターの舞台